



学校だより

12月

のびていこう「わかる つながる 高め合う」はやぶちっ子

学校ホームページから発信する“新吉田第二小らしさ”

副校長 小山 進治

街をゆき子供の傍（そば）を通る時 蜜柑（みかん）の香せり冬がまた来る（作 木下利玄）

晩秋から初冬へと季節は確実に移り変わっています。冒頭で紹介した短歌は大正時代に作られました。歌の意味は「街を歩いていて、子供の傍を通ると、ふと青い蜜柑の甘酸っぱい香りがした。冬がまたくるのだなあ。」というものです。時代が変わってもなつかしい、この時季にふさわしい情景です。

さて、平成から令和に変わった今年度も早いもので8か月が過ぎました。学校だより第454号（7月号）の最後で触れましたが、今年度私が力を入れている仕事の一つに学校ホームページの更新があります。ほぼ毎日の更新を通して、私が保護者や地域の皆様に伝えたいことは主に三つです。

- 第二小の子どもたちのひたむきに学ぶ日々の様子や、地道に重ねる授業を通しての成長過程
- 本校の教育活動や日々の授業に関わる、地域や保護者を中心とする様々な人による協力体制
- 子どもたち一人一人を大切にしながら教育活動に取り組む、本校の教職員の創意工夫の姿勢

毎月の学校だより裏面には、それぞれの学年の1か月の学びの成果が掲載されています。その成果に至る学びの過程を私はホームページを通して、瞬時に発信できると考えています。毎日の地道な学校生活の営みが、子ども一人一人を育てる豊かな環境創りにつながります。そして本校の教育活動は、地域や保護者の協力ですらに充実したものとなっています。毎年継続してご協力いただいているゲストティーチャーの方々は、本校を支えるまさに地域の教育力の源です。その学習を生み出す工夫には日々誠実に取り組む教職員の努力の姿勢があります。この第二小らしさを私はホームページで発信しています。

12月7日（土）はいよいよ、はやぶちっ子フェスティバル2019です。子どもたちが中心となるフェスティバル実行委員会で決めたスローガンは『のびていこう かがやく 笑顔 第二小～未来へつながるフェスティバル～』です。日頃の学年や学級での学びを保護者や地域の皆様に伝える絶好の機会です。子どもたちの創意工夫が込められた発表にぜひご期待ください。フェスティバルに向けた子どもたちと教職員が創り出す学びの過程を、日々の学校ホームページ更新でお伝えしてまいります。



12月の目標

- 【生活】身のまわりをきちんとしよう。
- 【保健】かぜを予防しよう。
- 【給食】お客さまを招待して楽しく食事をしよう。

